

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 森本

山 名	梶山・小野山			山行名	例会
ルート		大原バス停～音無の滝～梶山～小野山～仰木峠～横川～峰辻～ 登山口バス停			
山行日	2025 年 4 月 20 日（日）			天 候	曇り
参加者		リーダー：森本 男性：西川、永井、お試しの方 女性：阪本、田中深、山内、玉井、高橋、高山 合計：12 名	サブリーダー：田中(ま)、米田		

ルート概略図

コースタイム					
地名		時:分	地名		時:分
大原バス停	集		横川(トイレ)	着	13:05
	発	8:23		発	13:20
音無滝	着	8:50	峰辻	着	13:45
	発	8:55		発	13:55
梶山	着	10:10	登山口バス停	着	14:58
	発	10:20		発	
小野山	着	11:05		着	
	発	11:10		発	
仰木峠	着	11:40		着	
	発	12:10		発	

	山行報告 活動データ タイム 6 : 39 距離 10.4 km 登り 941m 下り 1005m 8 時過ぎの大原の里は観光客もなく、菜種油を絞る菜の花が迎えてくれた。三千院を過ぎて音無滝に至るまでが観光地で、そこから先は鎖場、渡渉あり、また倒木を乗り越えたり潜ったりと登山者お楽しみのコースになる。谷筋から尾根に変わりしばらく登ると梶山 681mに到着する。山頂プレートには「梶山」「大尾山」「童髻山」の表示がある。ここからは京都滋賀境界線の尾根歩きになる。小野山 670mを越えると琵琶湖の景観が広がり、向こうに近江富士も確認する。仰木峠では、初級登山教室を懐かしむ参加者もいた。この先で昼食タイムとなったが、昨日の真夏のような温度とは違い、防寒対策をした。 水井山、横高山には登らずに横川方面へ向かう。小川を渡り、比叡山ドライブウェイ下の下水管トンネルをくぐり、横川駐車場でトイレタイムとする。右手に水井山を見ながら最後の登りになる。横高山登山道との交差点でカタクリの花が保護されている。ここからはザレ場の下りで、落ち葉が石を覆い隠しているところもあって慎重に下っていく。何度も尻餅をつきそうになるが、無事に登山口バス停まで下山できた（ヒヤリハット 2 件あり）。すぐに京都駅行きのバスが来るが満員御礼のため乗車できませんとのアナウンス。15 分後の国際会館駅行きは何とか全員が座れた。
	ヒヤリハット ・イバラのとげをつまんでしまい、軽い出血があった。 ・踏んでしまった枯れ枝が跳ね返り、靴に引っ掛かり転倒する。軽い打撲と擦り傷あり。

<感想文>

永井

大原バス停から少し歩くと、鮮やかな黄色の菜の花畑が広がり、背景は岩と緑の金毘羅山。この景色で気持ち良いスタートが切れた。

三千院を過ぎて沢沿いの山道を進む。多くの倒木を跨ぎ潜り、徒渉を繰り返して山頂を目指す。若葉に囲まれ清々しい気分。山頂の山名標識は三枚あり、それぞれ 梶山・大尾山・童髯山 と記されている。国土地理院地図では“梶山”標記のようだ。

ここから仰木峠まではアップダウンを繰り返す稜線歩きだが、足を止めるほどの景色に出会えず残念だった。峰辻から登山口バス停までは、角礫状の石を敷き詰めたような下山道。石は転がり易く、疲れた足が更に疲れる下山になった。

CL、及び班長さん、ご一緒頂いたみなさん ありがとう御座いました



<感想文>

山内

梶山までの登りは、苔むした倒木をくぐったり、跨いだり、沢を石を踏みながら越えたり、急な斜面を登ったり、とてもスリリングな道のりでした。山の会に属しているからこそ連れて行ってもらえる、個人では決して来れないところだと思いました。頂上の後の尾根歩きは、琵琶湖が見え、風も心地よいものになりました。残る三分の一の行程は、急な下り坂です。左は急な斜面もあり、降り積もる落ち葉を踏みしめながら歩きました。登山口に着いた時は、心底ホッとしました。それとともに、1日しっかり歩いて、経験値が一つ積み上がった気がして、嬉しかったです。

CLさんを始め、お世話になりました皆さん、ありがとうございました。

